

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
旅行実務論		旅行実務における JR 運賃料金 計算基礎力の養成		手塚 郁子	1 年次前期	2
科目区分	専門	キーワード	JR 旅客営業規則・運賃計算法・運賃計算の特例・料金の種類と計算法			
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力(技術・理論)を有し、関連分野で活躍可能な能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的(交通・観光関係)な知識と実践力とを総合的に身につける 2. 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力(技術・理論)を身につける				
事前に受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	JR 旅客営業規則に従った基本的なルールや複雑な運賃料金の計算方法を学び、国内の鉄道旅行において必要となる「運賃・料金」の正しい見積書を打ち出すことが出来るように学習します。また、当該科目の学習は、国家資格である国内旅行業務取扱管理者試験における「国内旅行実務」科目の出題範囲であり、合格のための一助となります。					
到達目標	国家試験に出題されるレベルの、基本的な JR 運賃料金計算ができるようになることを目標に定めて、旅行業務取扱管理者試験合格を目指します。したがって、試験範囲をカバーするよう進みますから、高校までに学習した基本的な計算や言葉の理解ができていないと厳しいこともあります。					
講義内容	JR の営業規則に則った運賃料金計算法を学習します。JR の旅客営業規則はとても複雑ですから、個々のルールをしっかりと覚え、面倒がらずに丁寧に計算式をたてて積み重ねていかないと一つの問題を解くことができません。例題を解きながら解説をしていきますが、僅かでも気を抜いたり省略したりすると正解にたどり着くことができません。ですから欠席はもちろん、出席していてもぼんやりして大事なことを聞き逃すと理解が難しくなります。ノートに書き写しているだけでは厳しく、1 回ごとに理解していかなくてはなりません。その覚悟をもったうえで臨んでください。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	講義科目ガイダンス	授業内容と注意事項 JR 旅客営業規則 運賃と料金			
	第2講	JR 運賃計算の原則 (1)	旅客営業規則(旅客の区分・幹線と地方交通線)			
	第3講	JR 運賃計算の原則 (2)	(本州三社・有効期間と途中下車)			
	第4講	JR 運賃計算の原則 (3)	(本州三社・北海道・四国・九州)			
	第5講	JR 運賃計算の原則 (4)	(連絡運輸・キロ数の通算と打切り)			
	第6講	JR 運賃計算の特例 (1)	(特定都区市内発着・山手線内発着) 運賃小テスト①			
	第7講	JR 運賃計算の特例 (2)	(特定区間・大都市近郊区間等)			
	第8講	JR 乗車券類に関する実務	JR 乗車券類に関する実務			
	第9講	割引運賃の種類と計算法	割引運賃の種類と計算方法			
	第10講	JR 料金の概要	JR 料金の種類			
	第11講	JR 料金(特急料金区分)	(特急料金について) 運賃小テスト②			
	第12講	JR 料金(新幹線内乗継)	(新幹線特急料金・新幹線内乗継)			
	第13講	さまざまな料金	(在来線特急料金・急行料金・特別車両料金・寝台料金)			
	第14講	注意が必要な料金計算	(乗継割引料金)			
第15講	本試験に向けて	ここまでの復習				
指導方法	限られた時間内で国家試験の範囲を学習するため、例題を解きながら解説していく講義が中心になります。運賃計算は、一つ一つの理解ができていないと正解に結び付かないため、理解できなかった箇所は必ず質問をして1回ごとに解決していくように心がけてください。					
事前学習	個々の認知度によっても違いますが、ある程度の地域名とその場所がわからないと授業内容が理解しにくくなりますので、時刻表の地図などを参照して、主な駅名や路線などを見ておいてください。前回の内容を理解していないと次の理解が難しいため、前回までの内容を中心に1時間程度が目安。					
事後学習	授業で学んだ細かいルールを整理して必ず覚えることです。ほとんどの人がそのルールを忘れてしまうためにミスを起こしています。面倒な計算式も必ず記入してわずかな部分を取りこぼさないようにすることが肝要です。その後、繰り返し問題を解くことがとても重要です。1時間程度が目安。					
成績評価方法	「本試験(筆記試験)」(50%)、「平常点(授業内小テスト2回の予定)」(50%) 授業内小テストの実施日は、授業進行状況やそのほかの状況によって変更します。必ず事前に実施日を連絡します。小テストについての追試験や、再試験はありませんので注意してください。					
テキスト	『旅行業務取扱管理者シリーズ TEXT 3 国内旅行実務 I(運賃・料金)』					
参考書籍	『JR時刻表』(大型2023年4月号)					
特記事項	計算機能のみ(スマートフォンなどは不可)の計算機を各自、用意してください。					